

広

報

しべつ

9

1997

萌える海と大地 さわやか交流郷

No.367



7月27日、町内外から約5千人が訪れ、にぎわいを見せたしべつ港まつり・料飲店まつり。

カムイチップ・ジャズオーケストラやしべつとどわら太鼓の演奏のほか、「遊舞乱」による踊りも披露。会場のサーモンパーク広場は熱気ムンムン。

花火大会やレーザー光線ショー、豪華賞品が当たる抽選会も行われ、ビールと海の幸を味わいながら夏の夜を満喫しました。

みんな
で夏を楽しむ

今年も始まりました 毎週土曜日「魚の日」



新鮮なサケやホタテを漁業者自らが格安販売する「標津・魚の日」が、今年も七月十九日から標津漁港内の卸売市場で始まり、人気を呼んでいます。

標津サケ・ホタテ消費流通対策協議会(戸田雅彦実行委員長)の主催で今年で四年目。八月は

ホタテとマスが中心に販売され、九月にはサケが加わります。魚の日は、十一月下旬まで毎週土曜日の正午に開かれます。しけなどの都合により中止する場合がありますので、同協議会事務局(標津漁協内 ☎2-12141)にお問い合わせを。

全国から申込み殺到 忠類川サケ有効利用調査

三年目を迎えた忠類川サケ・マス有効利用調査が、今年も八月一日から実施されています。

同調査の申し込みは、八月二十日に第二次まで終了し、この時点までの申し込みは四千二百六十二人。道内はもとより、道外では遠くは鹿児島県までと、釣り愛好家に人気を呼んでおり、関係者は標津のサケの全国的なPRと観光、地域振興の面で大きな期待を寄せています。

調査期間は十一月三十日まで。今後の申込期限は、第三次が九月二十日まで(承認期間：十月一日〜十一月三十日)、最



終となる第四次が十月二十日(同：十一月一日〜十一月三十日)までとなっています。

★応募申込・お問い合わせは、水産商工観光課・忠類川釣獲調査事務局(☎2-2341)まで(土・日・祝日休み)。



標高生徒会が交通安全 標語入りステッカー作製

標津高校生徒会(安達雅敏会長)では交通事故防止を呼びかけようと、このほど交通安全の標語入りステッカーを百枚作製し、町内の公共施設やガソリンスタンド、商店などに配付しました。

ステッカーの標語は、「忘れるな心で守るこの命」。生徒会が全校生徒百九十八人から募集し、最優秀に選ばれた石川祐樹くん(1年)の作品。生徒会では以前から交通安全標語を募集し、優秀作品を校内に掲示、自分たち自らが事故を起こさない、あわないようにと呼びかけており、今回は町民にも広くPRしたいことからステッカーを作製しました。

7月28日、安達生徒会長=写真=が役場を訪れ「痛ましい交通事故が起らないようにと願いを込めて作製しました。交通事故防止に少しでも役立てば」と小田桐町長に手渡しました。



3地区の高齢者が文芸誌 「樹木」第2号を発行

町内の古多糠、北標津、川北の3地区高齢者文芸誌実行委員会（大桃健作委員長）はこのほど、川北生涯学習センターの協力を得て「樹木」第2号を発行しました。

お年寄りの俳句や短歌、川柳、詩、エッセイの作品のほか、自分たちの活動を報じた新聞の切り抜きや写真を掲載。大桃実行委員長は「今後は3地区の高齢者だけではなく、町全体としての『樹木』を発行したい」と意欲を燃やしています。

「樹木」をご覧になりたい方は、川北生涯学習センター（☎5-2224）まで。

お年寄りの

介護を学ぶ

高齢化社会を迎え、在宅介護がますます私たちが取り組まなければならない問題となってい



る中、町と釧路社会福祉協議会などの主催による「ボランティア介護セミナー」が、町保健福祉センター「ひまわり」で七月三十日から八月一日までの三日間の日程で行われました。受講したのは、町内の主婦や中学生のほか、近隣の町のヘルパーなど三十三人。最初の二日間は、上野文規氏（生活とりハビリ研究所・主任研究員）や町の福祉担当者、歯科衛生士、栄養士による講義や実技指導。三日目には、デイサービス利用者との介護を通じて交流を深めました。

受講者は、お年寄りの介護方法などについて熱心に学びました。なお、このセミナーは毎年開かれる予定で、町では「一人でも多くの方々の受講を」と呼びかけています。

「ひまわり」周辺は 自分たちできれいに

標津寿会（大沼幸一会長・八十三人）では、盆間近となる八月十一日、自主管理している「ひまわり」周辺のごみ拾いや草取りに汗を流しました。同会では、機会あるごとにこのような活動を続けていきたいと話しており、町老人クラブ連合会が毎年九月に行っている「社会奉仕の日」にもボランティア活動を行うこととしています。



「ひまわりコート」で ゲートボール大会

七月一日にオープンした「ひまわり」に併設している屋外ゲートボール場「ひまわりコート」で七月二十三日、同センターのオープン記念ゲートボール大会が行われました。

この大会には、町内各地区から九チーム、約六十人が参加。小田桐町長のあいさつの後さ



パワー全開！

老人スポーツ大会

七月二十九日、第二十五回町老人スポーツ大会が薫別小中学校グラウンドで行われました。五十メートル競争や宝引きゲーム、空き缶をけつてリレーする「まちをきれいに」写真などの競技に二百五十人の参加者はハッスル。北標津・茶志骨地区チームが見事優勝しました。

古多糠パークゴルフ 場がオープン

古多糠パークゴルフ場が、七月二十日にオープンしました。場所は古多糠コミュニティセンター裏で、コース面積は一万五千七百平方メートル。この中に十八ホール、バー六十六のコースが設置され、夜間照明も完備されています。



つそく競技が開始され、参加者は始めてプレーするコースの感触を楽しんでいました。

本町初の 実業団陸上部合宿



合宿となりました。

ジョギングやウォーキング指導者の第一人者である群馬大学・山西哲郎教授が同部の相談役で、昨年に健康体力づくり講習会の講師として来町したことが縁で今回の合宿が実現しました。

同部は創立二年目。全員が一万m走など長距離選手で、同県ではトップクラス。群馬では気温四十度近くになることから訪れた選手の感想は「涼しくて十分な練習ができた。信号待ちもなく、車の通りも少なく走りやすい」と好評。町内のホテルに宿泊しながら一日に四十五キロほど走り込みを行い、金子監督は「秋には合宿の成果を発揮したい。来年も機会があればここで合宿したい」と話していました。

走り高跳びで黒沢 さんが全道優勝



第15回全道小学生陸上競技大会が7月27日、鉏路市民陸上競技場で行われ、小学6年女子走り高跳びに出場した黒沢文恵さん（古多謙小）が1m40の記録で見事優勝しました。

大会には、全道各地から予選を勝ち抜いてきた約1000人が出場。大会前に足首の捻挫から、2週間ほどしか練習できなかった黒沢さんでしたが、大会では1m30を苦戦しながら3回目でクリア、続く1m35を一発で飛ぶと、優勝をかけた1m40も3回目でクリアしました。

黒沢さんは、4年生の時の幅跳びで全道優勝の経験もあり、今後の活躍が楽しみです。

北方領土返還願 望郷サイクリング



七月十九日、二十日の二日間の日程で、第十三回北方領土返還祈願望郷サイクリングが行われました。

参加したサイクリストは百八十三人。羅臼から根室間のコース百九十キロを走行。初日、本町が中継地点となり、沿道の町民から拍手が送られる中、サイクリストは北方領土の早期返還を願い力走しました。

水しぶき上げ熱戦

標準バレーボール協会（大園博元会長）主催の国際水中バレーボール大会が八月三日、町営リンク内の特設コートで行われました。

大会には十チームが出場。選手

たちは水しぶきを上げながら熱戦を繰り広げました。



全国・全道で活躍

空手と少林寺拳法

札幌市で開かれた空手と少林寺拳法の全国、全道大会で、本町から出場した選手達が活躍しました。

日本空手協会標準支部（早川弘三支部長）の選手は八月二日、第四十回全国空手道選手権大会に出場。小学低学年団体の部組手に本町の吉田恭平くん（標準小一年）が大將としてチームの

勝利に貢献し、見事優勝。このほかに個人の部・組手、型の八部門で入賞しました。

一方、七月二十日、第十八回少林寺拳法北海道大会に出場した同拳法北海道標準支部の選手たちも健闘。小学規定演武四級の部で月岡大輔くん（標準小五年）・中川昌弘くん（同四年）組が準優勝したほか、団体の四部門で入賞、個人の部でも三位に入りました。

空手と少林寺拳法の選手の今後の活躍が楽しみです。



大会で活躍した選手達（写真上・空手。同下が少林寺）

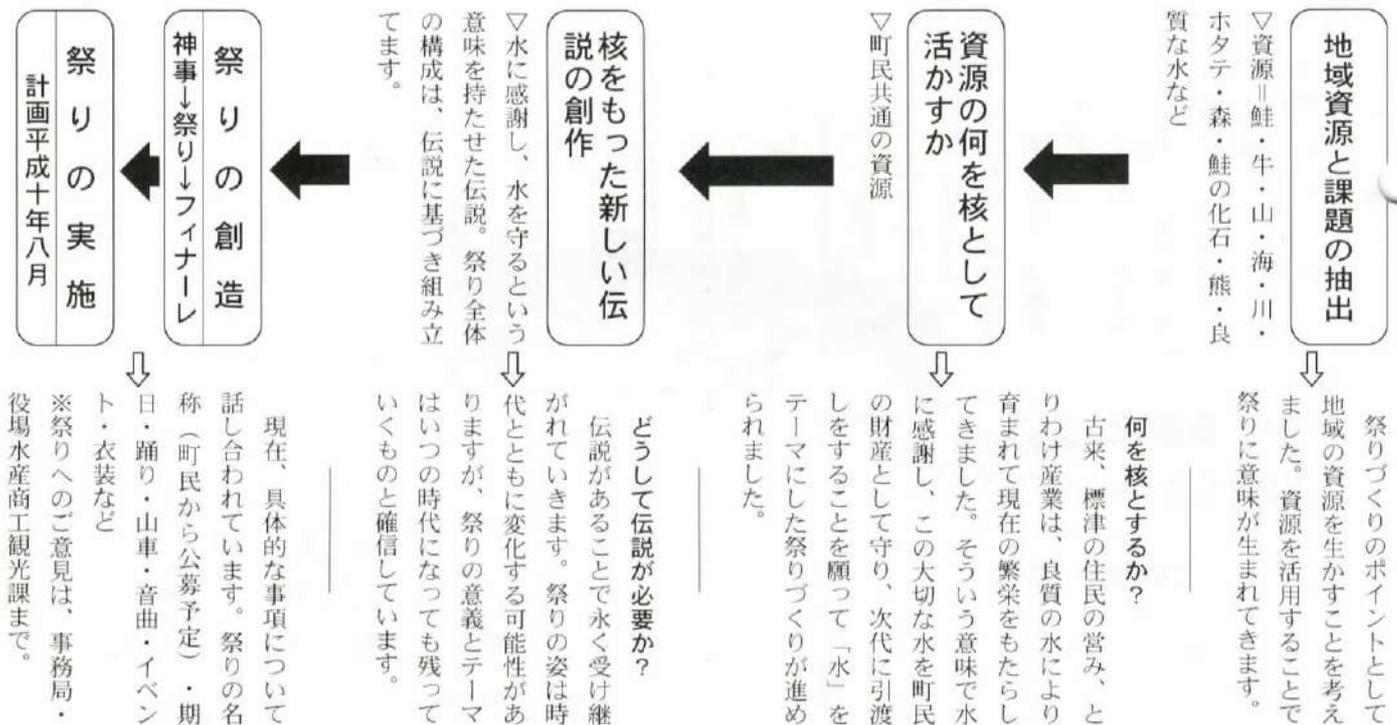


「祭りをやろう会」
中間報告 ②

～ストーリーのある
まちづくり～

新たな祭りの創造を目指して

伝統ある町民総参加型の祭りの創造を目指している「祭りをやろう会吉田智座長」の祭りづくりの取り組みの内容を先月号で報告しましたが、今月号は引き続き創造経過を報告します。伝統として残していくには、祭りに意味を持たせることが必要です。また、町民総参加を目指すには、多くの町民の方々に認知されることが大切です。そんな思いから、次の手法により祭り創作活動を行っています。



人事異動 (8月19日付)

小田桐町政四期目にあたり、行政改革推進の一つとして七月一日、本庁四部制から三部制（総務部と住民生活部を総務住民部に統合）したところで、一層の行政機構の活性化と効率化を図るため八月十九日、組織機構の一部改正を含め、次のとおり人事異動を行いました（係長・主査職以上を掲載）。

★機構の一部改正：「福祉保健課」を「福祉課」に。同課に新たに「介護保健準備室」を開設。

●町人事 ※（）は前職

▽総務住民部長兼企画振興課長（経済部長）金沢瑛▽経済部長（建設部長）城地民義▽建設部長代行兼都市計画室長（総務住民部企画振興課長）岩原尚昭▽総務住民部税務課長（建設部建設課長）浜向傑

▽同福祉課長兼介護保険準備室長（総務住民部福祉保健課長）吉田進一▽建設部建設課長（町議会事務局主幹）工藤憲二▽総務住民部住民課長代行兼防災係長（総務住民部住民課長補佐）志道司▽経済部農林課農政主幹兼農政係長（経済部農林課農政係長）山下誠二▽建設部建設課主幹兼管理係長（出納室出納係長）岡部清治▽総務住民部福祉課社会福祉係長兼介護保険準備室介護保険推進係長（総務住民部福祉課長）佐賀周逸

●町教育委員会人事

▽図書館長（町総務住民部税務課長）岡部征四郎▽生涯学習センター生涯学習推進主幹係長（生涯学習センター学習推進係長）鈴木邦夫▽総務課総務係長（給食センター業務係長）新村正弘▽給食センター業務係長（総務課総務係長）宮谷猛

●町議会人事

▽議会事務局主幹（町建設部建設課管理係長）分銅政司

みんなの広場

みんなの声を
このコーナーに
お寄せください

広報紙の「みんなの掲示板」はだれでも利用できるの？

Q 広報紙の中で「みんなの掲示板」コーナーを拝見しますが、だれでも利用できるのですか？

A このお知らせのコーナーは、町民のみならずに広報紙の一部を開放しよう

と昨年から始めました。

今までに、高校の同窓会会員



広報紙のお知らせコーナーに掲載している「みんなの掲示板」

山柳

月なみの言葉で仲人しめくくり
国会は「ふりする人」の猿芝居
どしゃ降りへ時代遅れを着て出かけ
検査室不安と恐怖交差する
山菜も塩の衣で旅をする
まつり来る近く人つづく盆も来る
乱れ咲くカン草海と沼のはさまで
忌巡りて一族血縁墓の前
部屋で妻に散歩で野犬に吠えられる
厚化粧薄いところを探す虹

短歌

尾びれをば川面に舞いておどろくる

夢む香りよ故郷の川

柳原 敏国（札幌在住・元中標津警察署長）

小路惣一郎

今泉 慎子

戸村 寿生

太田 明人

やサークルの会員募集、中学校創立50周年記念誌作成の写真提供の依頼、小学生ボランティアのタブ集めの協力依頼などを掲載しました。

このコーナーは、だれでも利用できますが、営利などを目的としたものはご遠慮願います。

▽お問い合わせは、役場・企画振興課広報統計係（2-2-131内線110）まで。

ご意見やご要望など
お寄せください

（あて先）
標津町字標津3-5
役場広報統計係
「みんなの広場」コーナーまで

このコーナーでは、町や広報紙に対するご意見や要望などをお待ちしています。なお、匿名や個人・団体の中傷となるものはご遠慮ください。

新町民に スポット

標津高等学校・教諭

宮前 邦夫さん



学校に新しい
「風」を入りたい

今年四月、札幌市内の高校から標津高校に赴任し、「学校に今までと違った新しい風を入れていきたい」と張り切っている宮前さん（47歳）。

生徒と話すことが大好きで、教諭として今まで子供を中心に考えるようにやってきました。子供は風船。まだ大きくふくらんでいないからこそ可能性がある。子供

は、海岸で見た玉砂利にへばりついているコンブ。「こんなにがちりへばりついている。子供たちもこのコンブのように「根性」をつけてほしい」。コンブを見てフアイトが沸いてきたといいます。

「人材は中央よりも地方の方がいると思うので、人材を発掘できれば。子供たちには卒業後も含めて外へ出て、視

には『だめだ！だめだ！』ばかりでなく、ほめることも必要。ほめ方としかり方の使い分けが難しいですね」

標高生徒の印象は「元気が良く、学校祭などの行事を見ても都会の子よりも動きがいい。子供たちは荒削りだが、将来が楽しみ。玉は磨くと光る」と話します。

野を広げてもらいたい。そのため自分は『世界』というものを教えたい。子供たちは自分を大いに利用してほしい。生徒への熱い思いが伝わってきます。

「私は標高卒業生だ。と、胸を張って見えるような学校にしたい」。授業では英語を担当。野球部部长、生徒指導部長も。長沼町（空知）出身。

お魚百科

サーモン科学館
市村 政樹学芸員

「カラフトマス」

カラフトマスの生態、生活史については以前、「広報しべつ」で詳しく紹介しましたので今回は省略しますが、この魚はサケ科の中では特異な存在なので。

サケ缶

九月になると標津サーモン科学館の魚道水槽は標津川とつながり、たくさんのシロザケ、カラフトマスの遡上する様子が見られるようになります。カラフトマスは十月上旬まで観察でき、特に成熟し背中の盛り上がったオスは本州から来る観光客にとって珍しいらしく、人気があります。

観光客のみならず、カラフトマスについてよく質問を受

けるのですが、質問に答えるうちに「カラフトマスって名前初めて聞いた」とか「こんなサケ食べたことないね」という感想をよく聞きます。一般の人、特に本州の人にとって、カラフトマスの知名度はかなり低いのです。

そういうとき、「世界で一番資源量の多いサケの仲間はこのカラフトマスです」「いわゆるサケ缶の原料としてよく使われます」というような説明をします。すると「マスなのにサケ缶に使われるのは変だなあ」という感想も聞かれる場合が多いのです。

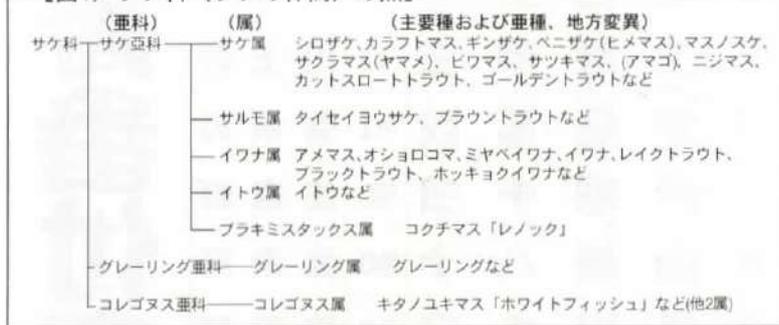
確かにマスなのにサケ缶とは納得しづらいかもしれませんが、カラフトマスは英語ではピンクサーモンといい、トラウト（マス）ではなくサーモン（サケ）になっているのです。

「マス」について

「この魚はマスの仲間ですか？」とか「サケとマスはどこが違うの？」といったこともよく質問されますが、この質問に対する答えは実にやっかいなのです。

〔図1〕は主なサケ科の魚の分岐図です。多くの魚に〇〇マ

【図1/サケ科（サケの仲間）の魚】



スとついていますが、複数の属にまたがっていることが分かります。つまり、「マスの仲間」という分類学的な区分は無く、すべてサケの仲間（サケ科）なのです。英語でも同様で、〇〇サーモン、××トラウトとついている魚でも、それぞれ複数の属にまたがっているのと同じような混乱があります。

従って、カラフトマスはサケ属の魚なので、サケ缶の原料になることはおかしくはないのです。

しかしながら、人によっては「マスの仲間」をそれぞれ定義づけている場合もあります。たとえば、北海道の水産関係者が単に「マス」や「マスの仲間」というと、サクラマス、カラフトマスのことをさしている場合が多いのですが、同じ水産関係者でも養殖業者や釣り人の場合はニジマス、ブラウントラウトなどを指していることが多いのです。人によって、「マス」の定義や種類が変わるといえるのは少々厄介です。



成熟したカラフトマスのオス

す。そのため、セツパリマス、ラクダマスという地方名もあります。そうするとなぜ、カラフトマスのオスはセツパリになるかという疑問が生まれてくると思います。それについては、いくつか説があります。その中の一つは背中が盛り上がった方が自分の子孫を多く残せるのではないかとのことです。

以前、ベニザケ、ギンザケはベニマス、ギンマスとと呼ばれていました。それが時代が経つに従い、「マス」から「サケ」と呼ばれるようになりました。あと百年もすると分類の通り、カラフトマスはカラフトザケ、ニジマスはニジザケなどと呼ばれるようになるかもしれません。しかし、そうなると思はれどうもしっくりといきませんが、みなさんはどう思いますか。

なぜ、セツパリになるの？

よく、シロザケの産卵の瞬間がテレビなどで放映され、産卵の瞬間に他のオスがつがいになっていく魚の間に割り込むことがあります。カラフトマスも同様です。自然産卵の様子を観察していると、産卵の瞬間にメス一尾に対してオスが何尾も飛び込むことが多々あります。そこで、オスは背を盛り上げることで体の側面の表面積が大きくなり、他のオスをブロックしているのではないかと考えられています。その方が確実に自分の子孫を多く残せるからです。

いずれにせよ、人間がこじつけた屁理屈ですので、本当のところはカラフトマスに聞いてみないと分かりません。

平成九年度秋場所 (敬称略)

※年齢は8月25日現在

東					西				
横綱	遠藤カヅ	97	上古多穂	横綱	出口キク	94	弥栄町		
大関	吉村ふち	94	弥栄町	大関	西根チメ	94	弥栄町		
関脇	渡辺みのり	93	桜木町	関脇	若杉寅吉	93	茶志骨		
小結	東海林どめ	93	弥栄町	小結	川畑チカ	93	川上町		
前頭	山口利吉	92	本町	前頭	高嶋増太郎	92	弥栄町		
2	岡部清志	92	新川上町	2	矢部むめの	92	北川北		
3	中山原ハル	92	弥栄町	3	高橋マサル	92	寿町		
4	上部卫キ	92	弥栄町	4	足田ヨシ	92	栄町		
5	工藤幸三	91	川上町	5	下山フサ	91	北川北		
6	伊藤馬次	91	弥栄町	6	千葉コト	90	弥栄町		
7	戸田チヨ	90	住吉町	7	中島あき	90	弥栄町		
8	山崎ハナ	90	弥栄町	8	秋元勝義	90	弥栄町		
9	前川キヨ	90	弥栄町	9	嶋倉みつ	90	弥栄町		
10	若杉ふで	90	新川上町	10	坂口卫シ	89	弥栄町		
11	川田ハツ	89	弥栄町	11	小笠原まつ	89	西山北		
12	岡本はる	89	弥栄町	12	島貫ア卫	89	東茶志骨		
13	渡辺カセ	89	薫別	13	森井イト	89	西山北		
14	本間モト	89	川上町	14	近藤忠男	89	栄町		
15	鈴木たかね	89	西古多穂	15	川村ソノ	88	双葉町		

標津町 長寿番付表

平成九年
九月十五日
(敬老の日)



東前頭2枚目 (92歳)
岡部 清志さん

◇長生きの秘けつは—
酒は若いころから飲まないことと、体を動かすようにしていることかな。牛乳は毎日飲んでいるよ。
◇若い人にひと言—
人から非難されるようなことは、しないことだな。

今場所の声



西前頭6枚目 (90歳)
千葉 コトさん

◇長生きの秘けつは—
何事もよくよく考えないでほがらかに毎日を過ごすことかしら。食べ物は好き嫌いがなく、あとは普通ですよ。
◇若い人にひと言—
自分の人生だから楽しく。何事も一生懸命に努力を。



健康番
健いち
今月の担当は
安里保健婦

「しべつっ子」が健やかに成長する願いを込めて…

― 標津町母子保健計画を策定 ―

今回は母子保健計画についてお知らせします。

計画というと堅いイメージを持ってしまいかも知れませんが、でも：待ってください。みなさんは何か夢を持っていますよね？「旅行したい」でも「やせたい」という願いでも良いでしょう。それらの夢や希望をかなえるために目標や計画を立てます。私たちが「標津の子供たちにはこうなつてほしい」という願いを込めてこの計画を立てたのです。

標津の子供たちが健やかに成長していくことは全町民が願うことでしょう。その願いがかなうようにみなさんもこの計画をご理解してほしいと思います。そして更に良い知恵や要望があり

りましたらぜひ教えてください。
計画が立てられた経過

「母子保健計画」とは？

「母子保健計画」とは母子の健康を守るための方法や手順をまとめたものです。母子という母親とその子供とらえがちですが、健やかに子供たちが育つ過程

を考えると、当然母となる女性だけに関係することではありません。妊娠・出産・育児期はもちろん乳用児期も思春期とあらゆる年代が関係しますし、その人々を取り巻く父親や町民のみならずも関係します。

また健康を守るためには、安心して生活できるように公園などの施設も含めた環境を整えることも必要です。

なぜ計画を立てたの？

時代の流れとともに母子を取り巻く環境も変化しています。例えば「子供の数が減り、また親とその子供だけの世帯の増加に伴い、育児経験が不足し育

児上の不安が増大している」とか「女性が外で働く割合が増加しており、両親ともに働きながら子育てしなければならない」などです。

このような環境の変化の中において、将来を担う子供たちを安心して産み育てられ、子供たちが健やかに成長発達できるための支援が必要と思われま



子供たちが健やかに成長していくことが「母子保健計画」の目的（写真は保育園での歯科指導から）

そのため国においても法律を改正し、町民のみならずによりきめ細かな対応が図られるよう、今まで道で行っていた母子保健事業の一部を今年四月から町が行うことになりました。そして、健診や相談などの母子保健サービスを適切に効果的にみなさんへ提供できるよう、計画を立てて行うべき事業を明らか

にしたのです。

計画はどのように立てられたの？

計画は母子保健計画策定委員会（「健やか懇話会」と「検討委員会」の二部構成）で立てました。

まず「標津の子供たちにはこうなつて欲しい」という理想を掲げることから始めました。町民の意見を取り入れるため、PTAや育児サークルの方など二十六人の参加による「健やか懇話会」を開き、標津町の子育て上の現状や要望、理想の子供像を話し合いました。

そこで出た内容をもとに、今度は実際に母子と関わりをもつ保母や教育関係者（養護教諭など）、役場保健福祉担当者など二十三人をメンバーとする「検討委員会」で、目的や目指す姿などを明確にしました。最後に

標津町母子保健施策の理念

- 〈目的〉 標津町の子供たちが健やかに成長・発達し、安心して子供を生み育てられる。
- 〈目指す姿〉 (親)▷生き生きと楽しみながら子育てをしている親▷子供の成長・発達をゆとりをもちながら見守っている親 (子)▷生き生きと元気な子供▷心豊かな子供
- 〈目指す姿を達成するための条件〉
- ①安全な妊娠・出産の確保②安心して子育てできる環境③親子が人や自然とふれあえる環境④思春期に生じる発達課題、健康問題に向き合える。

それを達成するために行うべき事業をあげ、今年三月に計画ができたのです。

計画を立てた後はどうなるの？

このようにして立てられた計画にそつて各事業を行います。そして、検討委員会を「母子保健連絡協議会」として、計画が順調に進んでいるか定期的に協議し、かつ保健・医療・福祉・教育などの関係する職種が連携しながら平成十三年度まで目標を達成できるようにします。

計画は立てれば終わりではなく、五年毎に見直し適宜変更して、より一層子供たちが健やかに育つまちを目指して行きたいと思ひます。

母子保健計画の具体的な内容は次回でお知らせします。

私たちが健康づくり

推進員です

～お気軽にご相談ください～

町民のみなさんの健康管理に役立つ各種検診の受診勧奨などのために各家庭を訪問し、検診案内の情報提供を行い、保健活動の推進を図るのが「健康づくり推進員」です。

推進員は各町内会ごとに配置し、二十一人。任期は二年間。今回で六期を迎えました。健康づくりのためのみなさんと行政とのパイプ役でもあり、健康に関する相談や質問などがありましたら、各地区の推進員にお気軽にご相談ください。

●推進員は次の方々です（敬称略）。

- ▽田中 スエ（東浜町）
- ▽金田 トミ（東茶志骨）
- ▽大石 次江（茶志骨）
- ▽増田 光子（桜木町）
- ▽遠藤久美子（本町）
- ▽黒田 和子（栄町）
- ▽数藤 元恵（曙町）
- ▽音川 光江（望ヶ丘町）
- ▽斉藤 はや（鳩ヶ丘町）

- ▽黒田 祥子（若草町）
- ▽富森 文江（新川上町）
- ▽岩原 敏子（弥栄町）
- ▽猪狩 浪子（伊茶仁）
- ▽梅木 好子（薫別）
- ▽大西 恵子（川北寿町）
- ▽奥 道代（川北共栄町）
- ▽水元 順子（川北旭町）
- ▽中村美智子（東川北）
- ▽森井ヒサ子（西川北）
- ▽村上 艶子（西北標津）
- ▽須田美佐子（東古多糠）



イベント

第33回

しべつ あきあじまつり

■日時

9月28日（日）

午前10時～（雨天決行）

■会場

サーモンパーク広場



※詳しくは、後日らし、ポスターなどでお知らせします。

一町観光協会（役場内 ☎2-2265）

陸上自衛隊標津分屯地

創立40周年記念行事

分屯地開放

と き：10月4日（土）
午後1時～午後4時
内 容：オートバイドリル
装備品展示
ジープ搭乗
模擬売店
（各種販売）
～子供から大人まで
お気軽にお越しください～

落語・漫才・歌謡ショー

と き：10月4日（土）
午後5時30分～午後7時
会 場：文化ホール
出演者：三遊亭吉窓
すず風にゃんこ・すず風金魚
入場料：無料（整理券が必要）
※整理券は、あすばる、川北生涯学習センター、標津分屯地で扱っております。

ヘリコプター体験搭乗

と き：10月18日（土）午後1時30分～（フライト時間約20分）
会 場：分屯地Bヘリポート（標津霊園の横）
定 員：6人（申し込みが多い場合は抽選とします）
申込み：9月19日（金）までに陸上自衛隊協力会事務局（役場内・総務部）まで。
※申込みの際は、印鑑を持参してください。
※搭乗できる方は、小学生以上69歳まで（未成年者は親権者の同意が必要）。

助成金・資金

**「コミュニティ助成事業」で
行事用テントを購入**

町老人クラブ連合会（渋谷辰雄会長）では、このほど（財）自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業で、行事用テント5張を購入しました。

この助成事業は、同センターが全国自治宝くじの収入を財源として住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われているものです。

現在、同連合会では、在宅で過ごす高齢者の社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上のためにスポーツ大会や芸能発表など多くの行事を行っており、今回の行事用テントの購入でより一層のコミュニティ活動の充実が期待されます。



7月29日、町老人スポーツ大会でさっそく利用されたテント

**恩給や年金でまとまった
資金がご利用できます**

■融資額 1人250万円以内

■利息

年2.90%（平成9年6月20日現在）

■利用できる方

恩給、共済年金、災害補償年金、厚生年金、船員保険年金、国民年金、労災年金などを受けている方

■返済方法

恩給など年金額を返済金として充当

■担保 恩給など年金証書

■保証人 1人以上（連帯保証）

★ご利用・お問い合わせは、国民金融公庫釧路支店（☎0154-22-8131）まで。

税

**単身の身体障害者の自動車
税が免除・減免されます**

この度、北海道税条例の一部が改正され単身の身体障害者の方が所有（取得）する自動車で、その介護者が身体障害者の方のために運転するものについては、新たに自動車税の課税免除などの対象となります。

★お問い合わせは、根室支庁税務課（☎01532-3-6131）まで。

保健

**「精神保健ボランティア」
養成講座を開催**

地域において精神保健及び福祉に関する知識普及、精神障害者及びその家族を支援するボランティアを養成することを目的として「精神保健ボランティア」養成講座を次のとおり開催します。

■日 程

10月2日～12月4日（計10回）

■募集人員 30人

■受講料 無料

★申込み・お問い合わせは、釧路保健所（☎0154-22-1233）まで。

戸籍の窓口から

（7月11日～8月10日届出分）

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住 所
山口 光春さん	田中 靖子さん	緑 町
佐々木剛夫さん	岩崎 里美さん	北古多郷

お誕生おめでとう

おなまえ	住 所	保護者の氏名
杉山 善於ちゃん	崎 無 貴	杉 山 佳 尚 織 江
池本 昇平くん	緑 町	池 本 浩 行 美 枝 子
黒川 愛海ちゃん	北 標 津	黒 川 新 陽 梧 子
西山 知花ちゃん	新川上町	西 山 勝 己 美 紀 子
江刺家千智ちゃん	寿 町	江 刺 家 正 利 菊 江
岡部 航大くん	薫 別	岡 部 基 浩 千 恵
森井みつきちゃん	西川北	森 井 義 文 ま り の
村山 彩夏ちゃん	伊 茶 仁	村 山 満 夫 ひ と み

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
神 内 正 勝さん	双 葉 町	49歳
サガ マリア ジヨブイナ ジョコアさん	鳩ヶ丘町	35歳
谷 内 ツ ネさん	伊 茶 仁	92歳
福 本 ひ ろさん	西川北	83歳
漢 サ フさん	桜 木 町	77歳
手 嶋 みどりさん	旭 町	83歳

寄付・寄贈ありがとうございました

●社会福祉基金として町に――

・岩佐哲男さん・小田桐悦子さん

●萌える海と大地さわやか交流郷創生基金として町に――

・後藤一郎さん

●町社会福祉協議会に――

活動資金として

・聖友標津支所

・双葉町婦人部フリーマーケット実行委員会

香典返しをやめて

・福本功一さん

●はまなす苑に――

・川北老人クラブ

・弥栄町内会婦人部

●標津病院に――

・畑サキさん・土井昭さん

●図書館に――

・森川幸一さん（長野県穂高町）

・弓削和代さん

●ポー川史跡自然公園に――

・工藤力雄さん

・弓削正巳さん（根室市）

スポーツ

☆ 9月のスポーツ ☆

3日(水)～4日(木)

◇高校野球新人戦地区大会
[9時～町営球場]

3日(水)～5日(金)

◇子供水泳教室
[19時～町営プール]

7日(日)

◇第29回道民スポーツ根室夏季大会第37
回管内スポーツ交歓会
[8時45分～羅臼町]

◇管内中学新人戦野球町内予選
[9時～町営球場]

9日(火)・16日(火)

◇水泳マークテスト
[19時～町営プール]

18日(木)

◇町内中体連新人戦大会(野球・卓球・
バレー)
[9時～総合体育館ほか]

21日(日)

◇第25回オホーツクマラソン大会
[9時～総合体育館ほか]



◇管内中学新人戦野球大会
[9時～町営球場]

27日(土)

◇プールサイド祭り
[19時～町営プール]

27日(土)～28日(日)

◇スケート実技講習会
[13時30分～町営リンク]

28日(日)

◇第13回標津卓球スポーツ少年団長杯オ
ホーツク卓球トーナメント
[9時～総合体育館]

9月の健康相談・健診日程表

乳幼児

■乳幼児相談

16日(火)〈標津〉
[9時30分～10時30分・13時30分～14時30
分/保健福祉センター「ひまわり」]
※午前の部 10・13ヵ月児、午後の部
4・7ヵ月児対象

18日(木)〈川北〉
[13時30分～14時30分/川北生涯学習セ
ンター]
※4・7・10・13ヵ月児対象

■歯ピカ教室

1日(月)
[9時30分～10時30分・13時30分～14時30
分/ひまわり]



★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)までお気軽に
どうぞ...

成人

■一般健康相談

26日(金)
[13時～16時/ひまわり]



■糖尿病健康相談(予約制)

17日(水)
[10時～16時/ひまわり]

■子宮がん検診

27日(土)
[9時～9時30分/ひまわり]
[13時～13時30分/川北生涯学習センタ
ー]

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	9月4日(木)・9月18日(木) 9月25日(木)・10月2日(木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	9月5日(金)・9月19日(金) 9月26日(金)・10月3日(金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	9月3日(水)・9月17日(水) 9月24日(水)・10月1日(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

9月10日は「全国下水道促進デー」

新しい 息吹を水に 下水道

下水道は、安全で快適な生活を確保し、公共用水域の水質汚濁防止のために必要不可欠な生活基盤として積極的に整備推進が行われています。

このことから、下水道に対する理解と関心を深め、その普及と十分な活用の推進を目的として、9月10日を「全国下水道促進デー」としています。

本町では、昭和61年10月に標津処理区の供用開始以来、現在、96.5%の利用となっています。また、昨年度から川北市街区の下水道工事にも着手しており、より多くの方が一日も早く下水道を利用できるよう推進しているところです。

今後とも下水道の普及・促進にご理解とご協力をお願いします。

★お問い合わせは、上下水道課下水道施設係（☎内線228・229）まで。

「下水道フェア」開催します

全国下水道促進デーの一環として、次のとおり「'97標津町下水道フェア」を開催します。ぜひご来場ください。

- 日 時 9月21（日）10時～14時
- 会 場 川北生涯学習センター駐車場
- 内 容

水洗用便器の展示、ラッキー抽選会、ヨーヨーすくい、わたあめの無料提供など。



楽しみながら下水道の知識を学んだ
昨年の「下水道フェア」

交通安全・防犯

スピードの出し過ぎに注意！ 秋の全国交通安全運動実施

- 期間 9月21～9月30日
 - 重点
 - ・薄暮時の歩行者と自転車利用者（特に高齢者）の交通事故防止
 - ・スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止
 - ・シートベルトの着用の徹底
- 中標津警察署・住民課—

過激派によるテロ・ゲリラ 防止にご協力を

日常生活の中で、アパートなどでだれが住んでいるかわからない部屋に夜になると多数の人が出入りするなどの場合、テロ、ゲリラなどの過激派が出入りしている可能性があります。

不審と思われる場合は、最寄りの警察署、駐在所までご連絡願います。

—中標津警察署—

危険物取扱者保安講習 開催します

北海道では、消防法の規定による危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者（保安）に関する講習を次のとおり実施します。

- 日 時 10月14日（火）
9時30分～16時30分
- 場 所 中標津消防署
- 対象者
危険物取扱者免状の交付を受け、危険物製造所などで危険物取扱作業に従事している方で、免状の交付または以前に保安講習を受けてから3年を経過した者あるいは経過する者など。
- 申込み 9月29日（月）まで

★お問い合わせは、根室北部消防事務組合消防本部（☎01537-2-9114）または標津消防署（☎2-2319）まで。

厚生年金・国民年金積立金還元融資を受けて——

浄化センター 地下水ボーリング工事を実施中

標津町外2町し尿処理組合では、今年7月から、3町（標津町・中標津町・羅白町）の合同し尿処理施設浄化センターの地下水ボーリング工事を実施しています。

この工事は、し尿及び浄化槽汚泥を希釈して処理するために必要な水量が不足しているため、新たにボーリングを行い水量を確保するものです。

この工事に係る費用は、みなさんの厚生年金及び国民年金積立還元融資金を財源として実施しています。



—標津町外2町し尿処理組合—

まちの声

136

「人生の指針になる経験や体験 自らの手で」

標津町民の皆様、『はじめまして』。とはいって、実のところ私は標津町に住んで七年目になります。今現在、標津高等学校で三年生の英語を担当しています。

私は北見市の郊外にあるところ（常呂町とは関係ありません）という田園地帯で生まれ育ちました。私が幼少の頃は、農家をしており、田植えをしたり、家畜への餌やりを手伝ったりしていました。ただ、まだ小さか

った頃なので、馬、牛、豚、鶏などの家畜には怖くて近づけなかったことを覚えていません。生活は楽ではありませんでした。今ではないかも知れませんが、トイレとお風呂は外にあり、夜になると怖くて一人でトイレにも行けない状態でした。必ず妹や両親についてきてもらい用を足しました。お風呂はお風呂で五右衛門風呂といって、大きな釜の中に水を入れ、釜の下から薪をくべてお湯にします。そのままで底が熱いので、入るときに底敷きの板をうまく沈めながら入るのがポイントなんです。私がまだその技術がなく、常に緊張しながらお風呂に入っていました。今時、お風呂に緊張しながら入る人はいないと思います。しかし、今となつては貴重な体験だったと思います。今、実家に帰っても馬も牛も豚もそして鶏も

いません。トイレも家の中にあり、しかも水洗です。お尻を洗淨までしてくれず。お風呂もリラック

スして入れます。

私はまだ二十代後半ですが、生活水準の向上した時代に生まれた高校生たちとはかなりの精神的ギャップを日々感じています。そのくらい世の中の動きが早くなったことを意味していると思います。特に好奇心旺盛な高校生たちは話題に遅れないようにするためにいろいろな情報を得ようとテレビや雑誌にかじりつきます。実はその話題作りが友達付き合いの中心になっており、仲間からはずされないようにする源にもなっているようです。流行や話題が次々に変わるため、ついて行くのがやっとなと思います。当然、お金も要ります。

そんな日常の中で生活する高校生たちが、かなりのストレスを感じているのです。私が思うのは、「もつと余裕をもつてゆつくり歩んで行こうよ」ということです。そのために、人生の指針になるような多くの経験や体験を自ら創り出してほしいと思います。ご家庭でもそんな機会を創ってあげることが必要ではないでしょうか。

▽次の「まちの声」は、緑町の咲間早恵さんです。



高木 英樹さん

(緑町)
標津高校教諭

もそして鶏もいません。トイレも家の中にあり、しかも水洗です。お尻を洗淨までしてくれず。お風呂もリラック

スして入れます。

私はまだ二十代後半ですが、生活水準の向上した時代に生まれた高校生たちとはかなりの精神的ギャップを日々感じています。そのくらい世の中の動きが早くなったことを意味していると思います。特に好奇心旺盛な高校生たちは話題に遅れないようにするためにいろいろな情報を得ようとテレビや雑誌にかじりつきます。実はその話題作りが友達付き合いの中心になっており、仲間からはずされないようにする源にもなっているようです。流行や話題が次々に変わるため、ついて行くのがやっとなと思います。当然、お金も要ります。

そんな日常の中で生活する高校生たちが、かなりのストレスを感じているのです。私が思うのは、「もつと余裕をもつてゆつくり歩んで行こうよ」ということです。そのために、人生の指針になるような多くの経験や体験を自ら創り出してほしいと思います。ご家庭でもそんな機会を創ってあげることが必要ではないでしょうか。

▽次の「まちの声」は、緑町の咲間早恵さんです。

人のうごき

・人口 6,612人 (-15)

・男 3,211人 (-7)

・女 3,401人 (-8)

・世帯数 2,327世帯 (-6)

◇平成9年8月1日現在
()は前年比

町内の交通事故

・人身事故 1件(8)

・負傷者 0人(10)

・死亡者 0人(0)

・物損事故 25件(137)

◇7月16日～8月15日まで
()は累計

▽短い夏が過ぎ去り、標津の浜が活気づく秋サケのシーズンを迎えました。▽この新鮮なサケをいかにおいしく食べるかは、各家庭でいろいろあると思います。「私は〇〇して食べる」「いや私は〇〇だ」と。サケの消費拡大のためにも、これが私のサケのおいしい食べ方(仮称)を掲載したいと考えています。その時は取材にご協力願います。

(H)

▽今月号の表紙の「しべつ港まつり」は、今年も大いに盛り上がりを見せました。今月初めてのレーザー光線ショーは特に圧巻。▽「祭りをやろう会」では、町民総参加型の祭り、未来につながる祭りを目指し、毎回真剣な議論を重ねています。▽来年八月には新しい祭りが行われる予定となっており、どのような祭りになるのか今から楽しみです。

(M)

編集のまど

交通事故死ゼロの日

751日

(8月20日現在)

広報 しべつ

・発行日/平成9年9月1日
・編集・発行/標津町役場 総務住民部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎01538-2-2131・FAX2-3011
・印刷/標津印刷(株)